

抽象画家・白髪一雄（1924-2008）は、床に広げたキャンパスの上に絵具の塊を置き、天井から吊るしたロープにつかまってそれを素足で画面全体に展開させる方法で描きました。全身の力を込めて描かれた迫力のある作品は観る人に強烈な印象を与え、世界的に高く評価されています。

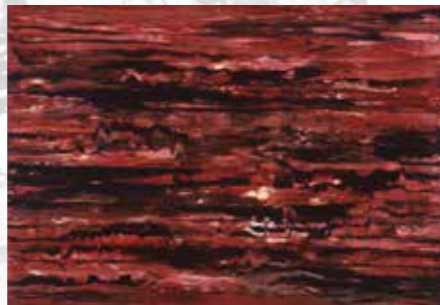
白髪が素足で描くアクション・ペインティングを開始した1950年代後半、当時所属していた前衛美術グループ「具体」では、「これまでになかったものを創り出す」ことを目指し、若い会員たちが自由な発想で新しい表現を次々に生み出していました。なかでも特異な白髪の作品は、来日したフランスの美術評論家ミシェル・タビエに賞賛され、彼を通じて海外にも広く知られるようになります。

白髪は生まれ育った尼崎に強い愛着を持ち、83歳で亡くなるまで当地に暮らし、制作しました。生誕100年を迎える今年、生誕の地・尼崎においてその足跡をたどります。

本展では作品だけでなく作品が生み出された背景にも光を当て、エネルギーに満ちたアクション・ペインティングの原点ともいえる尼崎の祭りの記憶をめぐる資料や、生家「木市呉服店」にあったアトリエの再現、白髪が愛好した品々、さらには、創作のために心身を鍛えようと修行を行った天台密教に関連する資料なども加え、生涯にわたり飽くなき挑戦を続けたアクション・ペインターの画業を紹介します。

また、様々な関連事業を通して、現代のアーティストたちにも影響を与えつづけるその作品の魅力が多面的に検証します。

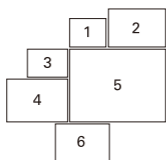
行為にこそ
総てをかけて



Shiraga Kazuo

生誕100年

白髪一雄



1. 《照魔鏡》1951年 個人蔵
2. 《猪狩 巻》1963年 東京都現代美術館
3. 《文》1954年 芦屋市立美術館
4. 《東方浄瑠璃世界》1972年 兵庫県立美術館
5. 《風魔》1996年 個人蔵
6. 《不動尊》1973年 延暦寺(滋賀県立美術館寄託)

記念シンポジウム「SHIRAGAを語る」

8/12 (月・休)

13:00-15:30 (開場 12:30)

会場 | アルカイックホール・ミニ(2F)

定員 | 100名

事前申込み、要覧チケット、逐次通訳あり

白髪一雄の記念すべき誕生日に、国際的な視点から国内外の研究者がディスカッションを行います。

登壇者

大島徹也 氏 (多摩美術大学美術学部教授)

ナミコ・クニモト 氏 (オハイオ州立大学美術史学部准教授) ※オンライン出演

平井章一 氏 (関西大学文学部教授)

ゆかりの地まち歩きツアー

8/4 (日)・9/8 (日)

14:30-16:30

場所 | 阪神・尼崎駅周辺 (中央商店街、寺町など)

定員 | 20名

申込み | 事前申込み

白髪一雄が生まれ育った尼崎のまちを、ゆかりのスポットを中心に訪ねます。

オープニング・パフォーマンス

7/26 (金)

14:15-14:30

会場 | 尼崎市総合文化センター周辺 (野外会場)

定員 | 100名

申込み | 賛助会員にお申込みいただいた、開会式の参加者が対象です。詳しくは右ページをご覧ください。

白髪とともに具体美術協会で活躍した元会員・今井祝雄氏が、かつて1970年の大阪万博に出品した作品《3t(トン)石》を蘇らせるパフォーマンスで白髪の生誕100年を祝います。

声優朗読劇 フォアレーゼン

「アクション・ペインター 白髪一雄」

8/25 (日)

14:30開演(13:30開場)

会場 | あましんアルカイックホール・オクト

尼崎の商店街の賑わいの中で育った白髪を題材にした、オリジナル脚本と音楽で綴る朗読劇。チャレンジ精神あふれる人生を人気声優たちが熱演します。



「記念シンポジウム」、「ゆかりの地まち歩きツアー」、「林葵衣+展 アーティストトーク」には、事前のお申込みが必要です。以下の申込先に7月6日(土)から各催しの2日前までに電話またはメールでお申込みください。メールの場合は、催し名、日時、氏名、年齢、ご連絡先電話番号、参加人数を書いてお送りください。各催しともに先着順となります。

問合せ・申し込み先

〒660-0881 尼崎市昭和通 2-7-16

白髪一雄生誕100年記念事業実行委員会事務局

〔(公財)尼崎市文化振興財団事業部内〕

展覧会・関連事業

美術担当 TEL: 06-6487-0806 (9:00-17:30)

e-mail: bunka@archaic.or.jp

声優朗読劇

事業担当 TEL: 06-6487-0910 (9:00-17:30)

尼崎市総合文化センター以外の関連展覧会

※詳細は各館のホームページでご確認ください。

白髪一雄が生きた時代の尼崎

尼崎市立歴史博物館

4/27(土)―9/8(日) 月曜休館

白髪一雄が生き、愛した、大正・昭和・平成の時代の尼崎の歴史を紹介します。



コレクション展 | 白髪一雄生誕百年特別展示

兵庫県立美術館

4/25(木)―7/28(日) 月曜休館

同館が収蔵する白髪作品の中から厳選された約15点が展示されます。



記念図録・グッズ

白髪一雄のことがこの1冊で詳しくわかる記念図録を出版します。また、白髪一雄の作品や、新しく加わったロゴマークを使ったオリジナルグッズを販売します。

賛助会員募集

生誕100年を一緒に盛り上げてくださる会員を募集しています!

・一般会員(個人のみ) 5,000円

・ゴールド会員(個人・法人) 1万円

・パートナー会員(個人・法人) 10万円

展覧会の開会式ご招待や記念図録のプレゼントのほか、グッズのご優待もあります。

詳細は公式ホームページにてご確認ください。

→お申込みは7月25日(木)まで



尼崎市総合文化センターの関連展覧会

白髪一雄の好奇心 林 葵衣+

ギャラリーアルカイック(2F)

8/31(土)―9/23(月・休) 火曜休館

若手美術家を支援する「白髪一雄現代美術賞」の第1回受賞者、林葵衣の展覧会。白髪が「作品計画帳」の中に書き残したプランに独自の解釈を加えて作品を制作します。アート/デザインプロジェクト「phono/graph」のメンバー、サウンドアーティストの藤本由紀夫、映像作家の竹内創、グラフィックデザイナーのニコール・シュミットたちとともに、新たな白髪一雄作品の体験方法「+(プラス)」を提示する試みです。



撮影:守屋友樹

アーティストトーク

9/16(月・祝) 14:00-15:30

場所 | 尼崎市総合文化センター 2階

コミュニティルーム

定員 | 30名

申込み | 事前申込み

出品作家の林葵衣とアート/デザインプロジェクト「phono/graph」のメンバーが今井祝雄氏をゲストに迎え、本展のプロジェクトについて語り合います。

ロゴデザイン応募作品展

ギャラリーアルカイック(2F)

7/27(土)―8/18(日) 火曜休館

前年度に公募した記念ロゴデザインの応募作品を展示します。ロゴマークに採用された最優秀賞の他、プロのデザイナーやデザインを学ぶ学生、子どもたちの作品まで、白髪一雄からイメージを膨らませた力作をご覧ください。

これぞ白髪一雄 躍動の痕跡

白髪一雄記念室(4F)

4/27(土)―9/23(月・休)

火曜休館

絵具の流動性や重厚さによって生み出される迫力あるアクション・ペインティング作品の魅力を紹介。白髪作品を大胆にデザインに取り入れた、メンズファッションブランドALMOSTBLACKの記念アイテムとのコラボレーション展示も必見。



《大威徳尊》1973年 尼崎市所蔵

常行三昧 Jogyo Zanmai

A-LAB

7/20(土)―9/23(月・休)

火曜休館

仏を念じ、仏の周りを歩き続ける修行「常行三昧」。白髪が比叡山で体験した修行になぞらえ、3名の作家が「絵とは何か」を問いながら実験的な絵画を会期中に制作し続けます。出品作家は櫻井類、高田マル、大上巧真。



櫻井類《センスの塊》2024年



アクセス

- 阪神尼崎駅より
立体遊歩道で徒歩約5分(国道2号線沿い)
- JR尼崎駅より
阪神バス(尼崎市内線) ④→阪神尼崎行「尼崎総合文化センター」下車すぐ
- 阪急塚口駅より
阪神バス(尼崎市内線) ④→「昭和通」下車徒歩約5分
阪急バス ④→「尼崎総合文化センター」下車すぐ
- 有料駐車場あり
(30分200円/1日最大1,000円・普通車)

尼崎市総合文化センター
美術ホール(入口5F)

〒660-0881 尼崎市昭和通2-7-16
公益財団法人尼崎市文化振興財団
TEL.06-6487-0806

